



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ソノコム

コード番号 7902 URL <http://www.sonocom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 嶋野 公一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務部長 (氏名) 高木 清啓

TEL 03-3716-4101

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	968	△1.0	176	18.3	188	10.3	160	2.5
28年3月期第2四半期	979	21.5	149	78.8	170	66.5	156	23.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	41.80	—
28年3月期第2四半期	40.04	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
29年3月期第2四半期	7,982	90.5	7,225	90.5	7,225	90.5	1,971.44	90.5
28年3月期	8,124	90.0	7,309	90.0	7,309	90.0	1,867.07	90.0

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 7,225百万円 28年3月期 7,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年 3月期の業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
通期	2,000	2.6	290	3.8	320	△3.6	270	△17.4	68.97	—

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	5,000,000 株	28年3月期	5,000,000 株
29年3月期2Q	1,335,036 株	28年3月期	1,085,036 株
29年3月期2Q	3,843,535 株	28年3月期2Q	3,914,964 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融緩和策を背景に個人消費の持ち直しや、雇用に改善の動きが見られましたが、海外情勢により円高が進行し、企業収益や設備投資への影響が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社が属するスクリーン印刷用製版業界におきましては、主要顧客である電子部品業界において、スマートフォンや自動車関連の部品の需要拡大により、一部の製品の出荷額が増加傾向にありましたが、本格的な回復には至っておりません。

このような状況のもと、当社におきましては、営業・製造・技術が一体となり、高精度製品の安定生産、生産効率の向上に取り組んでまいりました。その結果、売上高につきましては、製品売上高9億5百万円（前年同期比5.3%増）、商品売上高63百万円（前年同期比47.0%減）となり、売上高合計9億68百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

利益面におきましては、製品売上高の増加と継続的に取り組んでまいりました経費削減等が功を奏し、営業利益1億76百万円（前年同期比18.3%増）、経常利益1億88百万円（前年同期比10.3%増）、四半期純利益1億60百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①スクリーンマスク

当セグメントにおきましては、受動部品用の一部の製品の売上が増加した結果、売上高7億16百万円（前年同期比2.3%増）、セグメント利益2億42百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

②フォトマスク

当セグメントにおきましては、表示素子用のフォトマスクの売上が堅調に推移した結果、売上高1億89百万円（前年同期比18.7%増）、セグメント利益95百万円（前年同期比52.7%増）となりました。

③その他

当セグメントにおきましては、前年度大きな売り上げがあった印刷機や検査装置の売上が減少した結果、売上高63百万円（前年同期比47.0%減）、セグメント利益11百万円（前年同期比36.8%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して、1億42百万円減少して79億82百万円となりました。負債は、58百万円減少して7億56百万円となりました。純資産は、84百万円減少して72億25百万円となり、その結果自己資本比率は、90.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて10億48百万円増加し、33億22百万円（前年同期 17億57百万円）となりました。

また、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、営業活動の結果得られた資金は、前年同期比736.6%増の1億71百万円となりました。これは主に、法人税等の支払額57百万円があったものの、税引前四半期純利益1億97百万円や、減価償却費42百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、投資活動の結果得られた資金は、10億60百万円（前年同期 14百万円の支出）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入8億円や有価証券の償還による収入4億円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、財務活動の結果使用した資金は、前年同期比779.5%増の1億71百万円となりました。これは、自己株式の取得による支出1億44百万円や配当金の支払額27百万円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期累計期間において、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,623,983	3,181,613
受取手形及び売掛金	569,633	561,553
有価証券	850,001	241,220
商品及び製品	3,834	2,928
仕掛品	37,466	38,358
原材料及び貯蔵品	64,991	59,243
その他	41,130	66,385
流動資産合計	4,191,041	4,151,302
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	661,264	649,932
機械及び装置（純額）	110,647	100,064
土地	1,390,510	1,390,510
その他（純額）	21,409	23,325
有形固定資産合計	2,183,832	2,163,832
無形固定資産	4,603	4,369
投資その他の資産		
投資有価証券	1,395,075	1,408,202
その他	349,758	254,296
投資その他の資産合計	1,744,834	1,662,498
固定資産合計	3,933,270	3,830,700
資産合計	8,124,312	7,982,003
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	160,790	159,343
未払法人税等	62,509	49,213
引当金	44,055	40,671
その他	122,710	116,566
流動負債合計	390,065	365,794
固定負債		
退職給付引当金	19,061	10,600
役員退職慰労引当金	362,886	366,882
繰延税金負債	42,799	13,485
固定負債合計	424,747	390,967
負債合計	814,813	756,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	925,750	925,750
資本剰余金	1,405,550	1,405,550
利益剰余金	5,546,490	5,679,757
自己株式	△681,151	△825,151
株主資本合計	7,196,639	7,185,905
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	112,859	39,334
評価・換算差額等合計	112,859	39,334
純資産合計	7,309,498	7,225,240
負債純資産合計	8,124,312	7,982,003

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	979,092	968,948
売上原価	643,186	588,111
売上総利益	335,906	380,837
販売費及び一般管理費	186,384	203,880
営業利益	149,522	176,956
営業外収益		
受取利息	18,905	13,142
その他	3,940	11,165
営業外収益合計	22,846	24,308
営業外費用		
固定資産除却損	87	624
投資有価証券償還損	1,150	—
為替差損	326	12,057
その他	0	179
営業外費用合計	1,564	12,860
経常利益	170,804	188,403
特別利益		
受取弁済金	20,734	9,563
特別利益合計	20,734	9,563
税引前四半期純利益	191,539	197,967
法人税、住民税及び事業税	34,794	43,400
法人税等調整額	—	△6,104
法人税等合計	34,794	37,296
四半期純利益	156,744	160,671

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	191,539	197,967
減価償却費	45,792	42,460
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,754	4,616
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,282	3,995
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△9,623	△8,461
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,100	△8,000
受取利息及び受取配当金	△19,682	△13,809
為替差損益 (△は益)	326	12,057
有形固定資産除却損	87	624
投資有価証券償還損益 (△は益)	1,150	△6,243
受取弁済金	△20,734	△9,563
売上債権の増減額 (△は増加)	△62,193	8,079
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△14,000	5,762
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,856	△1,446
その他	△122,484	△23,345
小計	8,969	204,692
利息及び配当金の受取額	19,823	15,154
弁済金の受取額	20,734	9,563
法人税等の支払額	△29,003	△57,698
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,524	171,712
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△700,000	—
定期預金の払戻による収入	700,000	800,000
有価証券の償還による収入	—	400,000
有形固定資産の取得による支出	△7,880	△21,825
投資有価証券の取得による支出	△103,443	△313,627
投資有価証券の償還による収入	101,076	199,248
その他	△4,484	△3,192
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,732	1,060,603
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△144,179
配当金の支払額	△19,488	△27,230
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,488	△171,409
現金及び現金同等物に係る換算差額	△326	△12,057
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△14,023	1,048,848
現金及び現金同等物の期首残高	1,771,301	2,273,985
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,757,278	3,322,833

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	スクリーンマスク	フォトマスク	計		
売上高					
外部顧客への売上高	700,288	159,468	859,757	119,335	979,092
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	700,288	159,468	859,757	119,335	979,092
セグメント利益	227,304	62,726	290,030	18,551	308,582

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「スクリーン印刷用資機材」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	290,030
「その他」の区分の利益	18,551
全社費用 (注)	△159,060
四半期損益計算書の営業利益	149,522

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	スクリーンマスク	フォトマスク	計		
売上高					
外部顧客への売上高	716,401	189,292	905,693	63,255	968,948
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	716,401	189,292	905,693	63,255	968,948
セグメント利益	242,506	95,798	338,305	11,728	350,034

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「スクリーン印刷用資機材」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	338,305
「その他」の区分の利益	11,728
全社費用（注）	△173,077
四半期損益計算書の営業利益	176,956

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。